

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和5年2月20日

事業所名 こども生活館おひさま

保護者等数(児童数)14名

回収数14

割合 100 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応	
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	13			1		規定に従った広さを確保しています。身体を大きく動かす活動など状況に応じて庭や公園、公共施設なども活用させていただいております。室内は子どもたちが少しでも広く使用できるよう改修工事を実施しました。	
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	13			1		職員の配置についてはおひさま入口に掲示を行っています。児童発達支援、放課後等デイサービス、保育所等訪問に携わる職員の氏名が明示されています。職名は、児童発達支援管理責任者、保育士、児童指導員などがおり、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、心理士などが定期的に来所し連携するとともに、児童の発達に関する助言なども頂いております。また、強度行動障害養成者研修を受けるなど日々専門性を研鑽しています。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がい の特性に応じ、事業所の設備等は、バリア フリー化や情報伝達等への配慮が適切にな されているか	13				1		室内の設備等は通所されているおひさまの現状に合わせて対応・改善を行っております。構造化は誰もが過ごしやすいよう全体へ向けてのものと、それぞれのお子様に合わせてカードや道具を用いるなど工夫しております。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境 になっているか。また、子ども達の活動に合 わせた空間となっているか	13				1		普段の掃除はもとより、コロナ禍のこともあり、一日に数回、丁寧な清掃、消毒を心がけております。温度、湿度、二酸化炭素濃度も確認し快適に過ごすことができるようにしています。
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に 分析された上で、児童発達支援計画*2が作 成されているか	14						基本的には年に2回、カンファレンスや発達検査の結果などを基に客観的に課題や伸ばしたい力を分析し、保護者様とお話させて頂きながら計画作成を行っております。その他、必要に応じて計画の見直しを実施しています。
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイ ドラインの「児童発達支援の提供すべき支 援」、「発達支援(本人支援及び移行支 援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援 内容から子どもの支援に必要な項目が適切 に選択され、その上で、具体的な支援内容 が設定されているか	14						ガイドラインに沿って、誰もがわかりやすいよう具体的に設定するようにしています。地域支援や移行支援に関しても子どもたちがどの場面でも安心して過ごすことができるよう計画を立てています。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われ ているか	14						同意頂いた支援内容を職員全体に周知し、支援を実施しています。
	8 活動プログラム*3が固定化しないよう工夫さ れているか	13				1		活動プログラムは、見通しを持ち安心して過ごすことができるよう繰り返し行うものもあります。経過を観ながら、見通しが持てるようになったタイミングを図って、少しずつ変化を加えていくことで、状況の変化に対応する力や子どもたちの興味が広がるよう内容が固定されないための取り組みをしています。

	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	12			1 ※未回答 1		前年に引きつづき、コロナ禍での交流は見合わせております。
保護者への説明等	10	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	14					契約時の説明と共に書面でも確認できるようにしております。また、事業所入り口に掲示することでいつでも閲覧できるようにしております。
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	14					個別支援計画は支援内容を具体的に細かく記載しており、確認して頂きながら説明をさせて頂いております。
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング*4等)が行われているか	13				1	事業所では保護者支援の一環として就学に関する研修を保護者さま向けに行わせて頂いております。また、コロナ禍で延期となっておりますがペアレントプログラムも実施しております。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	13	1				相談支援事業所からの聞き取りは定期的にあるが、おひさまからの振り返りはメモのみである。 お子様の様子や保護者さまに合わせて面談や連絡帳、お電話、ご自宅への訪問、また個別ではありませんがおたよりやSNSなど様々な形での連携できるよう努めておりますが、保護者さまの勤務形態の多様性やコロナ禍であることなどを考えると、今後さらに情報共有するためのツール(例えばZOOMなど)を増やすことを検討していきたいと思っております。
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	13	1				定期的に面談を行っています。保護者さまからの相談等も随時受け付けています。今後もご家族の皆様との関係構築を行うとともに、相談しやすい雰囲気作りを心がけて参ります。
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	13	1				家族会やオヒサマルシェを行っています。コロナ禍ということもあり、保護者様同士が情報のやりとりを十分にできる懇談会などの交流の場をもてる機会は設定できておりません。今後、状況を見ながら、交流の機会を設定させて頂きたいと思っております。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	13				1	迅速に対応できる体制は整っており、適切に対応できるようにしております。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	13				1	電話、連絡帳、面談などを通し共通理解に努めています。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	13				1	毎月のおたよりのほか、個人情報に配慮した上でSNSでも伝えております。また、自己評価表の結果はHPに公表しており、家族会などでもお伝えしております。また、事業所でいつでも閲覧できるようにしております。
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	14					同意を受けた範囲内で取り組んでいます。

非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	12			2	ご契約時や、家族会等でもマニュアルについての説明を行っております。避難訓練についてはおたよりで通知しております。感染症に関しては昨年に引き続き感染症予防、蔓延防止のため、マニュアルに沿った取り組みを致しております。	
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	13			1	年2回の立会訓練と、毎月、自主訓練を行っております。火災、地震、風水害、防犯など様々な場面を設定し、いざという時に子どもたちを、しっかりと守ることができるように努めています。	
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	12	2			今日療育だよと言うと「やったー」と言って喜びます。ありがとうございます。	楽しみに通所していただけていること大変嬉しく思います。遊びの中には子どもたちが成長していくために必要な要素が盛りだくさんです。これから子どもたちの「楽しい」「やってみよう」という気持ちを引き出せるような活動を取り入れていきたいと思っております。
	23	事業所の支援に満足しているか	13			※未回答 <sup>1</sup>	実際に息子に支援した支援員の方からの振り返りがあると嬉しいです。	開所当初よりできる限り支援させていただいた職員が活動の様子を口頭と連絡帳でお伝えするように心掛けておりますが、対応が難しい状況があったことをお詫び申し上げます。支援をした職員がお伝えしていくよう今後も配慮して参ります。

\*1 この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすること。

\*2 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

\*3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

\*4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方等を学ぶこと。子どもが適切な行動を獲得することを目標としている。